隔月連載　第４回

地域医療の現状（いま）

市立病院事業では、患者サービスの向上と地域医療の充実を図るため、医療機器の新規購入や更新、夜間や日曜日の診療を実施しています。

今月号は、導入した医療機器の活用状況や夜間診療、応援医師による診療科目などについてお知らせします。

医療サービスの向上に向け医療機器を整備

市立病院では、国からの地域活性化生活対策臨時交付金などを活用して、古くなった医療機器の更新や新しい医療機器の導入を行ない、安全・安心な医療提供体制の充実を図っています。

画像診断システム【佐沼病院・豊里病院】

これまで、レントゲンやＣＴ、ＭＲＩなどの検査を受けた場合は、結果をフィルムに現像して診断していましたが、医療の分野でもデジタル化が進み、モニターで画像として見ることができるようになりました。

市立病院では、佐沼・豊里両病院に導入し、佐沼病院では６月から稼働中で、豊里病院では22年３月からの稼働を予定しています。

原則としてフィルムが無くなり、医療機関への紹介などの際も、フィルム持参ではなく、ＣＤロムなどによるデータの持ち運びができます。

デジタル化によってより多くの画像を診断できます

全身用Ｘ線ＣＴ装置【佐沼病院】

今回導入したＸ線ＣＴは、従来のものに比べ、一度に多くの断面を撮影できるため、同じ範囲を短時間でより細かく、高画質で撮影することが可能となっています。

任意の角度や方向から診断することが可能です

上部消化管汎用スコープ【米谷病院】

内視鏡は、「口から入れる」というのが通説でしたが、今回米谷病院に導入した内視鏡は鼻からも入れられるタイプで以前のものに比べ、全体的に細くなっていて、検査を受ける人の負担が少なくなるというメリットがあります。

皮膚治療用レーザー装置【豊里病院】

この装置は、肌の加齢や光老化（しみなど）の治療に使用します。この治療は公的医療保険が適用されない「全額自己負担」での治療となるため、治療の範囲にもよりますが、標準的な費用は１万５千円～５万円程度になります。

超音波診断装置など【各市立病院】

これらのほかにも、登米診療所と上沼診療所に、一般に「エコー」と呼ばれている超音波診断装置を、豊里病院に病室の患者の血圧や心電図、呼吸などを看護師の下で集中監視する患者監視装置を、米谷病院に血管の硬さや血管年齢を測定する血圧脈派検査装置を、上沼診療所に、呼吸機能を測定する電子式スパイロメーターをそれぞれ配置しています。

市民の皆さんに安心を夜間・休日診療を実施

平日の日中などに受診できない人を対象に、米谷病院と上沼診療所では現在夜間診療を実施しています。

米谷病院は第２・第４水曜日の午後５時30分から午後７時まで予約を入れていただいた上で診療をしています。上沼診療所では、第２・第４火曜日の午後５時30分から午後８時まで診療していますが、診療の際は、急な往診などで医師が不在となる場合もあるので、あらかじめ電話などで確認をするようにお願いします。

さらに、登米診療所では、昨年８月から日曜診療（年末年始を除く）に取り組んでいて、内科の外来診療のみではありますが、登米診療所をかかりつけ医としている患者を中心に月に１３０人程度の人が、受診しています。診療時間は平日と同じ、午前９時から午後４時までで、日曜診療の実施に伴い、水曜日午後の医科外来は休診となっています。

医師の応援によって各診療科目を継続

市立病院では、市民の皆さんの安全・安心な暮らしを支えられるよう、常勤の医師がいない診療科目について、医師の応援によって週１回から４回、または月に１回の頻度で開設している診療科があります。各病院・診療所の応援医師により開設している診療科は【表】のようになっています。

市立病院では、今後も必要とする医療機器の整備や医師との協力などに努め、市民の皆さんの安全・安心な暮らしを支えられるよう、患者サービスの向上と地域医療の充実を目指していきます。

【問い合わせ】
医療局医療管理課　企画係
☎０２２０（21）５０３０

【表】医師の応援によって開設している診療科

病院名	診療科	月	火	水	木	金
佐沼病院	脳神経外科	午後		午前		
	胸部外科				午前	
	眼科	午前	午前	午前		午前
	産婦人科			午前 午後	午前 午後	
	耳鼻咽頭科		午前 午後		午後	
米谷病院	小児科			午前 午後		午前 午後
登米診療所	整形外科	午前 午後				
	眼科	午後			午後	
	耳鼻咽頭科		午後		午後	

月１回の診療科目

米谷病院	神経内科	第３金曜日の午後
	リウマチ	第４木曜日の午前
	アレルギー	第３木曜日の午後

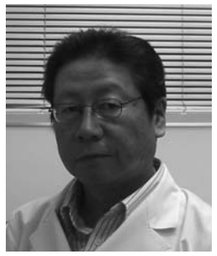
※詳しい診療時間などは、各病院にご確認ください。

とめしの お医者さん No 2

菅原内科クリニック（迫）

市内には、市民の『かかりつけ医』として地域の医療を支え、医療の現場で活躍している医師がいます。

今月号では、地域医療を支える医師の日々の医療や取り組みについての思いを紹介します。



菅原盛家（せいや）医師

日々の診療にあたって

患者さんにとって、この医師がどのような医師なのかよく分からないというのは、治療を受ける上で非常に不安な話だと思います。かつてわたし自身が入院した時、同じような思いをしたことがあります。

このような思いから、開業医（開院17年）として、限られた診療時間の中で、患者さんに対し自分が何をなし得るか、専門性（内科、放射線科）を保ちながらも、それにこだわることなく、患者さんの訴えにこそ「真実」があると、常に自分に言い聞かせて診療に取り組んでいます。

専門分野以外に関しては、幸い当地区の医師会では、学術講演が非常に盛んなので、わたしも最新の医療情報に接することができます。

外来では疾患さんがどのような疾患を抱え、家族や勤務の状況はどうなのか、医師は限られた時間内での判断を求められます。これこそ医師に求められる最大の課題だと心得、共に悩みながらも、今後とも診療に励むつもりです。診療では初心を忘れず、医師こそが患者さんに育てられているのだと感謝しながら、スタッフと共に熱心さと明るさがあふれる診療を心掛けています。

菅原内科クリニックデータ

住所：迫町佐沼字八幡三丁目４－２
電話：0220（22）0888
診療科：内科、放射線科
診療時間：午前 8:30～ 12:00
（土曜日のみ12:30まで）
午後 2:00 ～ 5:30
休診日：日曜日・祭日、金曜午後、土曜午後
※臨時休診もありますので、事前に電話で確認してください。

【問い合わせ】　市民生活部　地域包括医療推進室
☎0220（58）2118